

## 会議録（要点記録）

令和3年度 堺市南区政策会議 第1回ブランド戦略推進・魅力創造部会	
開催日時	令和3年9月29日(水) 午後6時30分～
開催場所	南区役所 2階 201・202会議室
出席委員	今中委員、大嶋委員、坂本委員、 西委員、西村委員、橋爪委員、 檜本委員
事務局 管理職員	堺市 佐小南区長 牧市民課長・手取政策企画部先進事業担当課長 北口泉北ニュータウン推進室事業推進担当課長 南区役所 東屋副区長・植松副区長 仲田自治推進課長・牧市民課長・喜多区政企画室長
議題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会</li> <li>2. 南区長挨拶</li> <li>3. 委員等紹介</li> <li>4. 議題               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 部会長及び職務代理者の選出について</li> <li>(2) 施策・事業等の事前評価について</li> <li>(3) 「南区ブランド戦略の推進」及び「スマート区役所の実現」について</li> </ol> </li> <li>5. 閉会</li> </ol>
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次第</li> <li>・配席図</li> <li>・資料1 「堺市南区施策・事業等概要シート」</li> <li>・資料2 「事前評価チェック項目」</li> <li>・資料3 「令和3年度堺市南区政策会議プレ会議 ご意見等 今後の議論のポイント」</li> </ul>

審議状況	<p style="text-align: center;">開会（午後6時30分）</p> <p>1. 開会</p> <p><b>区政企画室長</b>  定刻になりました。ただいまから、堺市南区政策会議第1回ブランド戦略推進・魅力創造部会を始めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>私、本日の司会を務めさせていただきます、南区役所区政企画室の喜多でございます。どうぞよろしくお願いいたします、本日は着座にて失礼いたします。</p> <p>皆様におかれましては、何かとご多用中のところ、ご出席を賜り誠にありがとうございます。なお、本会議は公開とさせていただきます。会議録を作成するにあたって、正確を期するために、議事内容を録音させていただきます。また、記録のため写真撮影をさせていただきます。何卒ご了承くださいませ、よろしくお願いいたします。</p> <p>2. 南区長挨拶</p> <p><b>区政企画室長</b>  それでは、次第に沿って始めさせていただきます。</p> <p>第1回の部会開催に当たりまして、南区長佐小よりご挨拶させていただきます。よろしくお願いいたします。</p> <p><b>南区長</b>  堺市南区長の佐小でございます。本日は着座にて失礼をさせていただきます。</p> <p>皆様におかれましては、何かとお忙しい中、堺市南区政策会議にご参画賜り、誠にありがとうございます。緊急事態宣言の発出に伴い、8月19日に予定しておりました、第1回全体会を延期したことから、本部会は全体会に先立っての会議となります。なお、本日は事前に書面審議仕様の資料をご覧いただいた上で、オンライン会議を実施するハイブリッド方式により開催いたします。</p> <p>このブランド戦略推進・魅力創造部会では、堺市南区基本計画の基本方針3、「ひとが未来へと紡ぎ、魅力と誇りを育むことができる都市」に向け、その重点施策を推進するため、南区ブランド戦略の推進及びスマート区役所の実現などについて、委員の皆様には忌憚のないご意見を頂戴したいと存じます。</p> <p>南区の新たなブランドの創出は、まさに泉北ニュータウン地域ならではの魅力を高めることをコンセプトとした、本市の泉北スマートシティ構想を推進するものであり、今後この地域は大阪府、堺市連携のスマートシティチャレンジフィールドと予定されていることから、本部会の役割は極めて重要であると考えております。本日は皆様どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>3. 委員・事務局紹介</p> <p><b>区政企画室長</b></p>
------	---

次に、委員の皆様をご紹介させていただきます。

《南区政策会議委員の紹介》

区政企画室長

それでは、部会長が選任されるまで、私の方で次第に沿って会議を進行させていただきます。

まず、資料の確認をさせていただきます。

《資料の確認》

4. 議題

(1) 部会長及び職務代理者の選出について

区政企画室長

それでは次第の4、1つ目議題1、部会長及び職務代理者の選出に移らせていただきます。

堺市南区政策会議部会の部会長の選出につきましては、「堺市南区政策会議開催要綱」第7条の規定により、互選で選出することとなっております。どなたかご意見がございますでしょうか。

お願いいたします。

今中委員

今中です。大阪府立大学研究推進機構特別教授で、多数の自治体の会議の委員を歴任されている橋爪委員が、適任だと思いますが、いかがでしょうか。

区政企画室長

皆様いかがでしょうか。異議がない場合、挙手でお願いいたします。

(挙手多数)

区政企画室長

ありがとうございます。

それでは、橋爪委員に部会長をお願いしたく存じます。橋爪部会長、どうぞよろしくお願いいたします。

橋爪部会長

皆様のご推薦により部会長に選任されました橋爪でございます、改めてよろしくお願いいたします。

私の専門はまちづくりや都市計画ですが、都市のブランディングとか、スマートシティ関連の業務もございます。大阪でいいますと、大阪市の都心部

の水辺再生とか、光のまちづくり等々、この20年ほど力を入れて進めてきた案件です。まちのブランドを高めることによって、対外的にアピールすることもできますが、同時に住んでいる方々の誇り、プライドをもう一度きちっと高めるといことが可能になります。単にブランディングというのは、外にアピールすることだけではなくて、内向けのコミュニケーションの上で、とても大事なことだと、まず冒頭に申し上げたいと思います。

特に今回の部会では、これから2年間ほどの任期かと思いますが、皆様と共にスマート区役所に関する施策事業、あるいは堺市南区のブランド戦略について活発に意見交換を進めてまいりたいと考えております。後ほど説明もあるかと思いますが、スマート区役所等は2040年までという、割と長いロードマップを持ちながら、次年度以降に何をするのかという、両方を考えることとなります。計画にも書かれていますが、未来のこと、夢を持って語るという部分とですね、着実に進めていくと、両方のご意見などがいただければと思っております。

本日は部会の初回ですので、皆様には、堺市南区施策事業と概要シートをご覧いただきながら、先ほど申し上げたスマート区役所事業などをより実効性のあるものにするために、事業評価、意見等を頂戴できればと考えております。

特に、スマート区役所とブランド戦略のうちのブランドのほうは、まだ多くの市民が知らない南区独自のブランド力のあるものなどが、今後ますます発掘していかないといけないなという思いを持っております。ほかの人が思いつかないような南区の誇りとなるものなどを、ご教示いただければと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

では、早速でございますが、議事の進行に入りたいと思います。

まずは、部会長の職務代理を定めたいと思います。要綱の第7条にありますように、部会長の職務を代理する者を、あらかじめ私が指名することとなっております。

私といたしましては、堺市南区青少年指導員会南区会長を務められており、地域に精通されている西村委員に代理をお願いしたいと思いますが、西村委員お受けいただけますでしょうか。

**西村委員**

ご指名ありがとうございます。微力ではございますがお受けいたします。皆様どうぞよろしくお願いいたします。

**橋爪部会長**

ありがとうございました。では、西村委員よろしくお願いいたします。

#### 4. 議題

##### (2) 施策・事業等の事前評価について

**橋爪部会長**

では、次第に従いまして進めてまいります。議題の(2)でございます。事務局より説明をお願いいたします。

**区政企画室主幹**

南区役所、区政企画室の内山と申します、どうぞよろしくお願いいたします。

す。それでは、議題（２）施策・事業等の事前評価について、ご説明をさせていただきます。

本部会では、堺市南区基本計画の推進に向け、区役所が企画立案している新規・拡充の施策・事業に対しまして、妥当性や実現可能性、効果や効率性など皆様方の視点からご意見をいただきます。ご意見を踏まえまして、より実効性のある施策・事業に、ブラッシュアップしていきたいと考えております。

今回、委員の皆様には事前評価いただきたい事業は、南区スマート区役所事業の拡充でございます。資料１「堺市南区施策・事業等概要シート」に基づき、担当課から説明を行いますので、その後、委員の皆様には、資料２「事前評価チェック項目」を参照していただき、事業の評価やご意見をいただきたいと考えております。

それでは、南区役所区政企画室長の喜多よりご説明させていただきます。

#### 区政企画室長

失礼いたします。区政企画室喜多でございます。南区スマート区役所事業の拡充についてご説明させていただきます。

資料１「堺市南区施策・事業等概要シート」を用いて、ご説明すべきところですが、本資料はお手元のファイルの中の「スマート区役所ロードマップ概要版」からほぼ抜粋したものとなっておりますことから、本日はこちらのロードマップをご覧いただきながら、ご説明をさせていただきたいと思っております。お手元の資料、ロードマップをご覧ください。

まず、スマート区役所とは何か、何をめざしているのかというところですが、ロードマップ左上の１に記載しておりますように、ICT等の技術の導入と全ての人にとってやさしい空間の創造により、安全・安心で高機能な区民サービスを提供する未来型区役所をつくり上げていくことをめざしており、さらにこの取組を通して、泉北ニュータウン地域におけるスマートシティの推進に、寄与していきたいと考えております。

では、次にこの計画、構想が生まれた背景、つまり南区の現状、課題でございますが、２の中央のグラフにもありますように、人口減少・超高齢化が顕著となっております。高齢者の占める割合が３分の１を超え、生産年齢人口、いわゆる働き手の世代が減少しています。近い将来、区役所に勤務する我々公務員の数も、当然減少していくことは間違いなく、その中で従来の区役所機能を引き続き維持し、区民の利便性を向上させていくためには今後より一層のICTの活用が必要となります。さらに、新型コロナウイルス感染症対策のためにも、窓口スペースの確保や庁舎内の混雑緩和など急務であると考えております。

次に、右上の３、「スマート区役所未来イメージ」をご覧ください。およそ５年後、１０年後のイメージを示しております。この未来イメージを実現させるため、次の４、ロードマップの内容に基づき、令和２年度より取組を進めているところでございます。

まず、基本方針として、南区役所の窓口におけるデジタルファースト、お待たせしない、お書きいただかない、お越しいただかないの推進と、全ての人に分かりやすく、やさしい区役所を目指しております。

実行の視点としては、デジタルファースト推進とデジタルデバインド支援の両輪、対面とデジタルのベストミックスを、常に念頭に置き進めてまいります。

では、これまでの主な取組と、今後の取組についてご説明いたします。ま

ず、これまでの主な取組としては、来庁予約の推進に向け子育てひろば「みみちゃんルーム」や、南区テレワークオフィスでの来庁予約システムの導入、混雑状況の可視化に向けホームページでの窓口待ち人数の配信、申請書作成支援に向け窓口支援システムを活用し、ご遺族をサポートするおくやみ窓口を開設。デジタルサイネージの活用に向け、区役所1階に区の魅力発信を目的としたデジタルサイネージを設置。SNSの活用に向け、ツイッターのほか、地域情報の発信や交流を支援する「マチマチ」というアプリとの連携や、南区役所のユーチューブチャンネルの開設など取り組んでおります。また、南区役所内に設置したテレワークオフィスは、利用者の方からご好評をいただいているところでございます。

次に、本部会で事業評価やご意見をいただきたい今後の取組についてご説明いたします。今後、市民サービスのさらなる向上を目的とし混雑状況の可視化に向け、区役所駐車場の混雑状況を、ホームページ等でリアルタイムに発信するための機器の設置と、庁舎案内の向上を図るため、区役所の「サイン」、「動線」の検証を行い、新型コロナウイルス感染症対策やユニバーサルデザインを踏まえた各種サイン、表示のリニューアルを行いたいと考えております。

以上が、南区スマート区役所事業の内容であり、委員の皆様には、今ご説明させていただきました今後の取組につきまして、評価やご意見をいただきたいと存じます。併せてスマート区役所を実現していくための新たな視点や取組などについても、ご意見を頂戴できれば幸いです。

なお、本日はロードマップをご覧いただきながら、ご説明させていただきました。お手数ではございますが、資料1のシートもご一読いただければと思います。

説明は以上です。

**橋爪部会長**

ありがとうございました。

では、ただいまの説明に関しまして、ご意見がある方、挙手ないしは声を出していただいてコメントをしていただければと思います、いかがでしょうか。どなたからでも結構です。

いかがでしょうか。

**檜本委員**

よろしいでしょうか。

**橋爪部会長**

お願いいたします。

**檜本委員**

今回メンバーの中で、唯一本当に時代についていけない人間というか、多分年齢も最高齢だと思うのですが、そういう立場からちょっと提案というか、声を出したいと思うのですが。

ロードマップを見ましても、これからの市役所は本当に対面も少なくなり、特に、こんなコロナ感染の中では、非常に明るい未来につながる、もうそれは本当に感動しながら見せていただいているのですが。私のような遅れた人間はですね、スマート区役所の網の目から漏れていくような、現在65

歳の高齢者が3割近いと言われる中で、私は特にだめ人間の部類になると思うのですが、そういうだめ人間が網の目からどんどんどんどんこぼれ落ちていって、役所にも行けない、連絡も取れないというような、そういう落ちこぼれがないような、そういう本当のやさしい区役所であってほしいなと思いながら、先ほどのロードマップのページを見させていただきました。

**橋爪部会長**

ありがとうございます。

ご指摘のとおり、やさしい区役所は全ての方、デジタルされない方にも、サポートしていくということですが、具体的に区役所はどのように考えておられるか、もしありましたら。やさしい区役所に向けてサポートの在り方とか、考えておられますでしょうか。

**区政企画室主幹**

南区役所区政企画室の内山と申します。少しご説明させていただきます。

申請手続きにつきまして、可能な限りオンライン化していきたいとは考えているのですが、今後全ての手続きであったりとか、区役所の機能が全てICTであったりとか、オンラインになっていくということではないと思っております。ロードマップにもありますようにライフイベント、最近おくやみ窓口を開設したのですが、やはりそういった手続きにつきましては、複数の申請があったりですとか、必要な確認が多々ございますので、こういったことは今後も対面でしっかりとその方の必要な申請を確認させていただきご案内する形になってくるかなと思っております。

また、できる限りオンラインでできるものはオンライン化していくのですが一方でオンラインではなくやはり対面で、相談とかヒアリングをしながら丁寧に対応していくような対面の手続きであったり、相談支援という業務もございます。そういったオンライン化によって、少し空いてきた職員をそういった相談とかヒアリングをしながらの手続きというところに振り向けていきたいなと思っております。

以上でございます。

**橋爪部会長**

ありがとうございました。

ほか、ご意見、ご質問ありますでしょうか。

**坂本委員**

よろしいでしょうか。

**橋爪部会長**

お願いします。

**坂本委員**

NTT西日本、坂本です。

スマート区役所ロードマップの4番、ロードマップの内容の中のデジタルサイネージの活用とか、SNSの活用のところについてご意見を言わせていただきたいと思います。

令和6年度以降、デジタルサイネージの活用のところで、双方向型への移

行と書いてありますけれども、まさしく双方向というのは、必要になってくるなど考えます。具体的には、南区に住んでいるのですけれども、例えば何かつながりが欲しい場合は、もちろんツイッターとかLINEとかあるのですけれども、あまりにも範囲が広過ぎて。例えばですけれども、ここに参加されている西委員は、公園で料理してみんなで集まってというような取組をされているのですけれども、もちろんツイッター等で掲載はされているのですが、自治体様が用意するのとは別として、何かもっと市民同士がつながれる、市民同士で参加募集できる、市民同士で何か集まれるそういった南区限定なのか、堺市全体なのか、そこはちょっと議論の余地はあると思うのですが、何か市民同士でつながれる、SNSみたいなものがあればいいのかな。例えば、若い人と高齢者。例えば、子育てをしている家族同士とか、いろいろなつながりがあると思うのでそういった仕掛けを用意する、用意して市民同士コミュニケーションが取れるというようなものがあれば、もっと効果、効率性が上がるのかなと考えました。

以上です。

#### 橋爪部会長

ありがとうございます。

お名前が出ましたので、西委員、もしお言葉がございましたら。

#### 西委員

ありがとうございます。

情報を共有するということで、なかなか若い方とお年寄りの方とでは情報の交流の仕方というのはまず違うわけで、若い人は結構ツイッターって、インスタって、フェイスブックって、いろいろSNSをやっています。今、僕は48なのですけれども、この10年、20年と僕たち自身が今後老人になっていく形になって、そうなったときにどうなるのかという話はありません。

やっぱりスマート区役所ということで、そういうITを駆使してみたいな話もあるので、何かそういうデジタルとアナログが、共有するということか混在する形で、うまくやっていないといけないという話だと思うんです。

もちろん、情報的にツイッターのほうが早いですけれども、それプラス南区役所の中で、そのツイッターで探している情報を、アナログの掲示板として。多分市役所でも職業とかお金じゃなくて、物々交換とかという実験も確かあったと思うのですけれども。ツイッターとかインスタも、あれは多分掲示板だと思うのですよ。自分はこうやっていますよと、掲示板からスマホ上で流れていくという形なので、それがアナログで、連動しながらそういうことが実現できたら。僕自身の話ですけれども、お年寄りになっても、スマホで見るのと、実際に区役所に足を運んで、もしくはサテライトということで、こういう「ゆっくりばこ」みたいな、すごい住宅もそうだし、サービス機能を備えた施設が、南区役所内に点在すると、点から線になって、エリアへという形のエリアイノベーションだと思うのですけれども。何か混在というのが、一つのテーマかなという形で考えました。

#### 橋爪部会長

ありがとうございます。



ほかご意見、ご質問ありますでしょうか。民間の立場から見て、行政のこういうスマート関連についていかがでしょうか。一番専門的なのは坂本委員でしょうか。

**坂本委員**

坂本です。

先ほど檜本委員がおっしゃられましたように、やはりどうしても、民間は特になのですけれども、効率化ばかり極端に求めますので。例えば、今はスマホで何でもできますよというようなサービスも、民間は出してますけれども。例えばスマホをお持ちじゃない方、檜本委員おっしゃったように、スマホがちょっと苦手な方、ひょっとしたらスマホも使えない方もおられると思うのです。いろんな意味で。なので、このICTをどんどん導入するというのは、どうしてもスマホありき、パソコンありき、タブレットありきとなってしまうので、そういったものをやっぱり扱いにくい方、扱うのが難しい方をやっぱり配慮して、コストはかかるかもしれませんが、そういったサポートといいますか、そういったものをすることによってやさしい区役所、優しくなるんじゃないかなと思います。

なので、ICT自体はいいことだと思うのですが、先ほどおっしゃられたこぼれることがないようにというのが、市民目線というか、自治体目線では、大事なかなと考えています。

以上です。

**橋爪部会長**

ありがとうございました。

確かに、この種の事業のロードマップを見ると、デジタルに不慣れな人への対応が、項目として出てこないですね。南区の場合もやさしい区役所をめざしますと書いてますが、こちらの事業メニューの中にも、サポートに関する事項とかいうのが見えません。不安になられる方も出てくるかと思えます。使えない方のサポートの方法論でも新しい技術でサポートの仕方等があります。さっきあった見守りのロボットとか、明らかにそうだと思うものもありますけれども、ほかにも、いろんな新しいアイデアもあると思います。ぜひスマート区役所を考える上では、最新のスマート技術を生かして、技術に慣れてない方々をサポートするというようなことをしていければと、個人的には思っております。

ほか、何かありますでしょうか。

**西村委員**

西村です。

実は、私は青少年指導員を兼ねているのですが、今、現職としては、情報セキュリティの関係の仕事をさせていただいてまして、全く皆さんとは逆の立場なのです。要は、こういうIT関係の部分の審査員をさせていただいていることもございまして、ちょっと私は全く逆のことを言うかもしれませんが。それと今地域では、自治会の会長をさせてもらってまして、今はコロナでろくに会議ができないことがあったので、結局はポスティングしかできないのです。今おっしゃったようにスマートフォンを全員がお持ちじゃないので、LINEができない人とか。きめ細かな作業をしようと思うと、そういったところが今出てきている。

逆に、自分の今の仕事のことを考えたときに、本当にIoTで夢がかなうような世界になるのですが、パソコンを持っていていろんな変なメールが飛んでくる。一回それをクリックした瞬間にこれはどうしようもなく変な方向に走ってしまうという。要は、いろんなセキュリティ上の問題が出てくるのですね。

ですから、本当に今ロードマップの中には、2030年ということで、非常に夢のあることが書かれています。ただ、そこで気をつけていただきたいのは、みんなが本当に安心してそれにアクセスできる仕組みをきちっとその中で入れておいてほしいのです。区役所に入ったつもりが、全然違うところに飛ばされた、よくあることで、そういったところをよく注意した仕組み、システムを組んでいただきたいと思っています。

すいません、皆さんとちょっと外れるかもしれませんが、夢は非常に高くもっていただいたらいいのですが、それと伴って、我々、使う市民の立場としては、そういうセキュリティという面を、確保していただくということも、実際の事業化のところでは、きっちりと考慮していただきたいと思っています。

以上です。

#### 橋爪部会長

ありがとうございます。

専門家がおられたので何よりです。今ご指摘があったように、個人情報の件もありますので、セキュリティの視点を是非入れていただいているかどうかと思います。

私のほうで少し申し上げると、区役所のスマート化と同時に、まち全体のスマートシティ化が進む中で、官民のスピード感に差があり、区役所などの考え方は、今ある仕事の効率化のほうに割と行きがちなので、特にご指摘がありましたように、地域コミュニティの活性化とかのために、いかにスマート化を図るかとか、その視点のほうも重要です。民間の事業とうまく速度感を合わせる必要があるかと思っていますが、セキュリティの面も重要かと思っています。

今回のロードマップは2030年までと書かれていますが、実際は、恐らくもっと早く、想定よりも早く、コロナ禍もあって余計に早く、デジタル化が進んでいます。区役所のほうも臨機応変に前倒しすべきものがあれば、前に倒しながら進めていただくようなことも、今後検討いただきながら、我々もそれをきっちりと評価をしていくという形を取らせていただければと思っています。

ほか何か、特にございますでしょうか。よろしいでしょうか。では、一旦この件は切らせていただきまして、また後で議題3に進む中でですね、遡ってこの件に関しましてご意見があれば、またいただきたいと思っています。ありがとうございました。

#### 4. 議題

##### (3) 当部会のテーマ（案）について

#### 橋爪部会長

では、次に議題3、当部会のテーマ（案）についてでございます。事務局より説明をお願いいたします。

#### 区政企画室主幹

区政企画室の内山でございます。議題3、当部会のテーマにつきまして、ご説明をさせていただきます。お手元の資料3、今後の議論のポイントという資料をご覧ください。

本部会は堺市南区基本計画の基本方針3「ひとが未来へと紡ぎ、魅力と誇りを育むことができる都市（まち）」を推進していくための部会として設置しておりますことから、本部会のテーマにつきましては、「南区ブランド戦略の推進及びスマート区役所の実現について」とさせていただきました。その下に、皆様から事前にいただきましたご意見を、抜粋しております。

南区ブランド戦略に関することでは、自然豊かな環境の活用や住みやすい暮らしやすいまちの形成、高齢者に優しいまちの形成、若年層を呼び込む魅力の創出などのご意見をいただきました。また、スマート区役所・スマートシティに関することでは、新しい職住空間の創出や、便利なスマートシティの実現などの意見をいただきました。

皆様からいただきましたご意見を踏まえ、スマート区役所の実現は、今後随時取り扱うこととし、まずは南区ブランド戦略の推進・新たなブランドの創出を、主なテーマとしてご議論いただきたいと考えております。それでは南区の現状や課題、そして南区のブランド戦略の取組について区政企画室長より、ご説明させていただきます。

その後、続いて泉北ニューデザイン推進室事業推進担当課長より泉北ニューデザイン推進室の取組について、政策企画部先進事業担当課長より泉北ニュータウンをはじめとした南区でのスマートシティの取組について、ご説明をさせていただきます。

よろしく申し上げます。

#### 区政企画室長

区政企画室喜多でございます。

私からは、南区の現状や課題、そして南区役所のブランド戦略の取組についてご説明いたします。参考にお手元のファイルの資料、堺市南区基本計画をご覧ください。2ページ、3ページをお開きください。

南区は泉北ニュータウンを中心とした計画的市街地と農地、集落地、丘陵地から成っております。3ページの特徴にもありますように、歩行者、自転車専用の緑道、そして公園が整備されております。そして、農業の一大生産地でもあり、田園風景が広がるなど、身近に緑あふれる良好な環境が、南区の大きな魅力となっております。

また、国宝の桜井神社拝殿や須恵器の窯跡、無形民俗文化財「上神谷のこおどり」など、貴重な歴史文化資源も数多く有しています。さらに、区内にはさまざまな学部を持つ複数の大学があり、今後新たな大学の開設も予定されているところです。

南区の主要3駅にはそれぞれ図書館が設置されているほか、子どもの豊かな遊びと文化創造の拠点である「堺市立ビッグバン」などが立地し、豊かな教育・子育て環境を形成しています。このように南区は魅力あふれる、ポテンシャルの高い地域であると言えます。

一方、南区の人口は平成4年をピークに減少の一途をたどっております。上のグラフをご覧くださいと、一目瞭然です。加えて、高齢者の増加と若年世代の区域外転出の増加により、65歳以上の人口割合が34%に達する超高齢社会となっております。

次に、南区役所のブランド戦略の取組についてご説明いたします。13ページをご覧ください。

南区では、フラッグシップモデルにあります、豊かな緑空間や須恵器、こおどりといった歴史文化を活用し、南区のブランド戦略の推進を図っています。取組の一つとして、昨年度南区役所1階に魅力発信コーナーを設置し、須恵器の展示やこおどりなどの動画配信を行いました。

玄関ホールには「陶邑窯跡群・須恵器窯」と「上神谷のこおどり」のタペストリーを実施いたしました。南区のすばらしい魅力を区民だけでなく、来庁される多くの方に知っていただけるよう取り組んでいるところでございます。

南区では課題である人口減少を食い止め、人口を定着及び若者世代をはじめとした人口流入をめざすことが重要であり、区民の生活の向上や南区ブランドの創出など、魅力的な都市空間を新たに創造することで、南区に「行きたい」「住みたい」「住み続けたい」に、つなげていくことが求められています。

本部会では、南区の定住人口、交流人口、関係人口の増加に向け、南区ブランド戦略を推進するためにはどうしたらいいのか。また、南区の新たなブランド創出に向け、何が南区の新たなブランドになるのかなど、委員の皆様にご意見をいただき、南区の人口増加に向け、ブランド戦略のストーリーを描いていただきたいと考えております。

委員の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

#### **泉北ニューデザイン推進室事業推進担当課長**

続きまして、泉北ニューデザイン推進室の北口と申します、どうぞよろしくよろしくお願いいたします。お手元のほうに、泉北ニューデザインという資料のほうをご用意していただけますでしょうか。

泉北ニュータウンは、高度経済成長期の住宅需要に応えるため整備されまして、このまちびらきから50年以上が経過しております。現在は先ほどご説明がございましたが、人口の減少、高齢化の進行、人々のライフスタイルや価値観の変化、住宅や公共施設の老朽化など、多くの社会環境の変化に直面しているような状況でございます。

一方で、泉北ニュータウンは、緑が豊かでゆとりのある住環境や、都市部へのアクセス性のよさが強みということで、リモートワークの普及など職住一体の近接型のライフスタイルといった新しい生活様式を実行できる、心豊かに暮らすことができるまちとして、その価値が見直され将来への期待が高まっているというようなところでございます。このようなことから、多様な世代が暮らすまちとなるために、健康で暮らしやすい環境を整えることや子育て世代が魅力を感じ定住したくなるような、子育て、教育環境の向上など図る必要がございます。

このような中、本年5月、泉北ニュータウン地域において、新たな価値を創造し、将来にわたって多様な世代が快適に住み続けることができる持続可能なまちとすることを目的としまして、この泉北ニューデザインというものを策定いたしました。

泉北ニューデザインでは、かつてのベッドタウンから、より豊かに暮らせるまちへを理念としまして、多様な世代が住み、働き、安心して暮らせることなど4つの基本方針と、子育て、教育、市民交流、プロモーションといった12の取組方針を定めております。こういった取組を進めまして、若者世代などの誘引を諮っていききたいというふうにご検討しております。住民の方や

事業者の方たちの思いを共有し、共創するためにイメージイラストを作成してございます。裏のページにあります。

駅前及び周辺エリア、近隣センターなど5つのエリアの10年後の泉北ニュータウンのイメージをイラストとしまして示しまして、人々とのイメージを共有していきたいと考えております。

画面のほうになりますけれども、こちらのほうが駅前及び周辺エリアということで、例えば人々が駅前のコアワーキングスペースでお仕事をしたり、オンデマンドバスを利用して買い物に出かけるといったような様子を見せていただいております。

こういった形で、新たな価値を創造し、将来にわたって多様な世代が快適に住み続けることのできるよう、持続可能なまちの実現に向けて、皆様と共に意見を交換させていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

私からの説明は、以上となります。

#### 政策企画部先進事業担当課長

政策企画部先進事業担当課長の手取でございます。続けてご説明をさせていただきます。

今、南区基本計画や泉北ニューデザインといった、まちづくりの計画をご説明させていただきました。

スマートシティの目的、冒頭に橋爪先生のほうからもご指摘がありましたとおり、我々はICTを使って何をしたいのかが重要であり、我々はその目的を、住民生活の質の向上をめざすのだと設定しています。それは、短期的な取組の成果を求めるだけでなく、2030年、2050年など中長期の視点をもって、住んでいる方々のライフスタイルをイメージしながら、心地よい生活のできるライフスタイルを実現する取組を進めていくことが大切だと思っています。

そのためには、檜本委員のほうからもありましたとおり、デジタルデバイドを含めてですね、デジタルが使えない方、あるいはデジタルが苦手な方、こういった方々も含めて皆さんで新しい生活の利便性が向上していくためにはどういったことができるのかというところを考えていくことも重要だと考えています。

堺スマートシティ戦略、これは、堺全体でどのようにスマートシティを進めていくかという戦略です。堺スマートシティ戦略そのものの理念は、ICTを活用して、まちと暮らしにイノベーションを生み出すと、未来をつくることです。

堺スマートシティ戦略、これは、堺全体でどのようにスマートシティを進めていくかという戦略です。堺スマートシティ戦略そのものの理念は、ICTを活用して、まちと暮らしにイノベーションを生み出すと、未来をつくることです。

どういう形で進めていくのが効果的かという考え方を戦略として示しています。例えば、イノベーションを実装する、さまざまなデータ連携の基盤を構築するなどを掲げていますが、その一つとして、全市での取組と並行して、重点的に取り組むエリアを絞るというのが重要であろうというところで、泉北ニュータウンを含む南区を泉北ニュータウン地域として重点エリアに位置付けました。そして、堺スマートシティ戦略の中に、重点エリアでの具体的な取組の進め方として、泉北スマートシティ構想を作成しました。

こちらは南区基本計画、あるいは泉北ニューデザイン、こういったものを実現するためにICTを活用しながら、皆さんと一緒に、どんなライフスタイル、生活が実現できるのかというところを考えた構想になっております。

そういった意味で言いますと、重点エリアである泉北ニュータウン地域のポテンシャルは、やはり住むうえで、非常に魅力が大きい地域であるということがいえると思います。商業的な機能としては、当然高島屋さんを含めて泉ヶ丘、それから近隣センター、いろんな商業機能があるのです。やっぱり暮らしていて、非常に魅力的な空間であるというところが最も伸ばすべきところかなと考えております。

そういった意味で泉北スマートシティ構想の理念を「Live Smart, Play SENBOKU」、暮らし楽しむ、遊びあるまちと設定しています。コロナの話もあって生活圏での時間が大切になっていますので、リモートワークなどのワークスタイルが変化し、ここで暮らしながら、地元ないしは生活に密着し生み出した時間であるとか、そういった楽しみというもの、暮らしを彩っていくことが進んでいきます。それを実現するためにICTというものが絡んでいく、そういった手法も一つであろうというふうに考えております。

その中で、モビリティ、エネルギー、あるいはヘルスケア、リモートワーク、コミュニティというところを重点分野としながら、取組を進めていきたいと考えております。

今、スライドでおみせしているのは、広報さかいの今年の10月号です。市民の方であれば、つい最近お手元のほうにいらっしゃると思うのですが、広報さかい10月号が今回リニューアルをしまして、全面カラーになっています。そのリニューアル第一弾の特集ページが、「スマートシティで変わる未来」ということでお示しています。簡単に言えば、堺のスマートシティというものは、ICTを活用することで、皆さんの生活をすこしだけ便利にする、そういうことですよと。

今回の特集、あんまり細かいことは書いてないのですが、スマートシティというのは何なんですかというところを、お伝えしたいという特集でございます。

新しい技術、ICTというのはあくまでツールなので、それを使って生活をもっと便利にしていきたい。その中には先ほどお話した、ICTになじみのない方が取り残されるということがないように配慮しながら、そして今のをミックスしながら、あるいは皆さんの理解を得ながら、進行していきたいと考えております。

進行中のプロジェクトの中には、買い物の支援ということでのキッチンカーと移動販売の組み合わせもあります。子育てで言いますと、GIGAスクールの構想であったりとか、あるいは現在でも募集しておりますけれども、高齢者の方に、睡眠センサーを使って健康維持・見守りをおこなう「安心睡眠サポート」というプロジェクトなどをさせていただいています。

ご紹介したもののほかにも、スマート泉北プロジェクトということで、いろんな取組を、大阪府と連携しながら進めております。資料にスマート泉北プロジェクトのQRコードもついておりますので、よろしければご確認ください。今後、いろいろなプロジェクトを進めていきます。そういった取組を、住民の皆さんと一緒にやっていきたいということを考えております。

あとのスライドはお時間もないので概略だけですけれども、こちらはマチマチという、地域に限定したSNSです。先ほど恐らく坂本委員もおっしゃっていただいたとおり、今後、やはりSNSが非常に大きいのも思っており

ますので、皆さんの悩みや疑問、まちの魅力などの口コミ情報を回答し、広めていくことでコミュニティ形成を進めるお手伝いをしています。マチマチとの取組のプラスアルファで言いますと、SNSの活用は便利でわかりやすく良いのですが、ユーザーはそれぞれのSNSをわざわざ登録して見に行かないと見に行けないというのがネックの一つとも考えています。今回、マチマチさんと連携して、堺市、公共のもついろんなSNS、それから南区の魅力を発信してくれるSNSを持つNPOさんなども公募して、マチマチから自動更新で見れるというようなサービスなどもさせていただいています。

こちらは、「giv」という先ほど委員からもご指摘のあった好意の循環、恩送り、ペイフォワードという形での実証事業を実施しています。これはリアルで、無償で活動されている方々のもつスキルや行動、好きなことが人のためになるということが、どんどんペイフォワード、恩送りをしながら、つながっていく、それが連鎖して広がっていくということの実証を、今、南区でさせていただいたりしております。

そのほか、デジタルデバイドというところで見ますと、公民連携により、SOMPO ホールディングスとかみずほリサーチ&テクノロジーズと一緒に、スマートシティを進めるために、ICTの利用の仕方を皆さんに身近に感じていただくよという取組もしております。こういったところもしっかりと踏まえながら、取組を進めていきたいと考えております。

私の説明は以上です、よろしくお願いいたします。

#### 橋爪部会長

ありがとうございました。

では、ただいまの説明に関しまして、ご意見、ご質問などありましたらお願いをいたします。

南区の話と泉北の話と両方あるのですけれども、泉北ニュータウンが南区の中核にあるという話の下に、それぞれご説明いただいております。全般にご意見、ご質問があればお願いいたします。

いかがでしょうか。

#### 今中委員

プレイ泉北というコンセプトって、すごくすてきななと思っています。スマートと聞くと、どうしても面倒くさいとか、ややこしいとか、何かネガティブな感情が出ちゃったりするのですけれど、それを上手に面白いとか、わくわくするとか、そっちの感情のほうに訴えていくようにして、ブランディングしていくべきだなと考えています。

今日の会議でも、何度か高齢化をリスクだとコメントいただいているのですけれども。私自身は高齢化というのは、決してリスクでもなければ、脅威でもなく、むしろ何かチャンスなのかなと。特に元気なシニア、しかもお金をたくさん持っているシニアが、ぐるぐるまち中をめぐって、まちを元気に支えていくというような環境をつくるための、支援の手段のスマートシティというのは、すごくすてきな流れだと思います。どうやったら、そういう新しい技術を住民のわくわくにつなげていけるかというあたりを、ちょっと皆さんと議論していきたいなと考えております。

以上です。

#### 橋爪部会長

ありがとうございました。

キーワードとして、わくわくといただいているので、わくわくするまちをつくっていかなあかんというところでございますが、ほかの委員の方は、ご意見等はございますでしょうか。

#### 檜本委員

檜本ですが、私は以前20年近く、南海電鉄の歴史探訪の案内というか、講師役をやっておりました。

泉北高速も南海に入るまでは、泉北ニュータウンの周辺のマップを作るといので、そこにおられた方とハイキングや、あるいはちょっと山登りを兼ねた各泉北の駅からのマップ作りなんかをしていたのですね。

そういうことで、私自身も毎月散策会といって歩いているのですが、人数が増えて仕方がないですね。それと現在で言いますと南図書館であるとか、年に1回榎文化会館、これは健老大学が会場を貸し切ってくれるのですが、500人ぐらいの榎文化会館の会場でも、この泉北周辺の歴史的なこぼれ話なんかをすると、ほぼ満杯になります。

そういう意味では、先ほどお年寄りがたくさんいる、お金を持っているかどうかは別といたしまして、そういう人たちが動くところ、いっぱい探しているんだと思います。

例えば、私たちが天見駅、千早口駅なんかに行きますと、100人、200人で降りたり、乗ったりするものですからね。その日だけ南海電鉄、ふだんは本当に切符を買って乗る人が数人の駅が、一挙に100人、200人になったと、南海の友人が、教えてくれることもあるのですがね。

そういう意味では、僕は個人的に自分が遊ぶためにやっているわけなのです。僕は仕方がないから、しゃべって道案内して、楽しんでいるのですが。南海さんは以前に歴史探訪なんかやっていたのですが、講師代も檜本さん、出せなくなったのもう無理ですよ、もう、ただ歩くだけにしましたと言って、5、6年前にこれは終わってしまったのです。

本当は南海さんも区役所も、そしてもうちょっと僕よりも若い人たちで、そういうことを有機的に、仕掛ける人たちが出てくれたらなと思います。私自身は、大したことはできないし、自分が遊んで、遊んでくれる人がいっぱいいたら、それで喜んでいるのです。

そういうことで、とにかく本当に泉北を知ってもらいたいことも、まだまだいっぱいあるのです。例えば、有名な楠木正成が、デビューしたのも泉北です。悪党として、泉北の泉ヶ丘駅の近くの若松荘にやって来て、米、麦を持って帰ったのです。歴史上記録で残っている楠木が出てくるのも、泉北です。あるいは、加藤 清正とライバル視される小西行長も朝鮮に攻めていっても、明から攻められたら日本がめちゃくちゃにされるのではないかということで、自分の後の家老にあたる、内藤如安も明の都の大都まで送っているのですがね、その小西行長の本当のお墓ではないのですが顕彰碑が、鉢ヶ峯にあるのですね。そこへ行くだけでも本当に感動してくださって、最近ではクリスチャンの方がたくさん一度数十人の方をご案内した途端に、外国の人まで鉢ヶ峯の小西行長の顕彰碑を見に来てくれるぐらいなんです。ところが泉北の人も、まだまだ知らない人が圧倒的なんですね。そういうことでは、本当にまだ知ってもらいたいものがいっぱいある、宝の山がいっぱいあるのになど、遊び人の私もそう思っているわけです。



以上です。

#### 今中委員

檜本先生、私は15年前にその歴史探訪を担当していきまして、その節はお世話になりました。

おっしゃるとおり、ウォークとか、リアルなイベントには、高齢者の方がたくさん参加されますし、地域のレモンの街ストーリーとかでも、シニアの方々は非常にたくさんが協力されています。

そういうリアルなイベントと、あとバイタルデータを蓄積していくような、そういう仕掛けも含めて、まち全体でスマートに楽しくまちづくりができればいいなというふうに思います。

#### 檜本委員

そうですね、本当にそう思います。ありがとうございます。

#### 橋爪部会長

ありがとうございました。

また、歴史探訪をぜひ復活ということ、この場でもご提言いただきましたので、区役所としてもサポートをお願いできればと個人的には思います。

ほか、ご意見、ご質問あればお願いいたします。

いかがでしょうか。

#### 大嶋委員

皆さんが説明されたこと自体、全部正しいことをおっしゃっているかなというのが総じての感想で、それをやったらいいんじゃないのという感想以外が、ないのが正直なところなんです。

ただ、せっかく出させていただいているので、うちの会社でこの話をしたときに、どういう反応になるかということの視点でお話をすると、多分全部やったほうがいいことなのですけれど、泉北のやはりもともと持っている強みに対して、資源の選択と集中が、やや弱いかなとは思いました。

資料3のところにも、もともと自然が多いですよとか、65歳以上が多いけれど、さっき今中さんのお話でもありましたように、マーケット的にはこの人たちがお金を持っているし、南区は要介護率が低いからいいわけだと、私たちは理解しているのですね。

それって、もともと泉北が持っている貴重な財産であって、そこをもう少し強めていくほうに舵を切らないと、デジタル化というのは世の中の当たり前にやっていかないといけないことなので、オリジナリティが弱くなっちゃうのかなと思いました。

そうしたときに、どういうことをどこに注力すべきなのかみたいな話を、委員の皆さんと議論していくほうが、すごく聞いていて有意義につながっていくのではないかと。

#### 橋爪部会長

ありがとうございます。

10年後の魅力的な絵がでていますが、日本中どこでも将来を描くと、同じような絵が出てくる。泉北らしさとか、南区独特のプラスアルファが何か

必要だろうという、それはまさにブランドの話になると思います。近畿大学の病院が来るとか、ビッグバンみたいな施設があるとか、何かほかのまちとは違うものがあるから、ほかとは違うスマートシティ化が進むのだというところを考えていければと思っております。ありがとうございます。

ほかご意見、ご質問ありますでしょうか。

#### 坂本委員

今のいろいろなご意見を聞いてまして、私も同意見です。私のほうは社会的にはですね、スマートシティとかICTを押し進めるといふか、そういったビジネスをやらせていただいているのですけれども、私個人としては、やはりICTもスマートシティも一つの道具として考えています。ゴールではないと思ってまして、我々も自治体様にも提案はしているのですけれども、道具としては結構同じようなものを、各自治体さんに、もちろん提案していくのです。やはり、これをどのように使っていくのか、高島屋様もおっしゃっていただいたことに、私も同意見でして、何か泉北でどう使っていくのか、泉北ならではの使い方、泉北での取捨選択、こういったものを今後スマートシティとか、ここにいろいろ書いてますけれども、何か使い方とか、そういったものを加えていかなきゃならないんじゃないかなと、感じました。

以上でございます。

#### 橋爪部会長

ありがとうございました。

ほかご意見、ご質問ございますでしょうか。

区役所のほうも、問題意識を共有いただけたかと思えます。特に、若い世代の人を地域に新たに住んでいただきたい、人口を増やすというだけではなくて、多世代が南区で暮らしていくというような地域をめざしていくというのが、全ての計画の中で重要な役回り、そのためにブランディングも必要だし、歴史文化の評価などもそのきっかけとなればというご意見があったかと思えます。次回以降、地域に若い世代の人をいかに呼び込むのかというあたりも大切な論点として、共有いただければと思います。

あと、イノベーション、イノベティブという言葉がよく出てまいります。市長がイノベティブという言葉が強調されたということで、今回、行政の事業計画等にもイノベティブという言葉が出て参ります。イノベティブというのは、現状のままではなくて新しいものを生み出していくということになるかと思えます。従来はこうであったという話にとどまらず、新しいものがどんどん南区、泉北から生まれているのだというふうな状況をつくっていく。その状態そのものが南区のブランド力になればと思います。

京都市の観光振興策の立案に長年関わっているのですが、京都ですら、今あるコンテンツを使えば消耗戦になって、ブランドがすり減っていくんだという認識があります。ブランド力を維持するためにも、絶えず新しいブランドを同時に生まなければいけないという思いがあります。

堺市もですね、従来の展望、歴史を大事にしながら、だけど、絶えず新しいものを生んでるのだという点を、堺全体としてアピールしてまいりたいと思えますし、泉北ニュータウン、南区もそういう場所にしなければいけない。各地から新しい若い世代がニュータウンに入ってきてですね、従来と違うライフスタイル、生活文化を泉北で生んできた。もう一度そういう状態

になればと思います。

若い世代を呼び込むということと、従来にあるものから新しい魅力を生み出すイノベーティブな発想というのが、今回のブランディング及びスマート区役所の中でもキーワードだと、私は理解しておりますので、そういう点を今後とも継続して、意見交換できればと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

では、本日およそ予定の時間となりましたので、委員の皆様方の議論は以上とさせていただきます。

進行を事務局にお返しをいたします。

## 5. 閉会

### 区政企画室長

部会長、ありがとうございました。委員の皆様、本当にありがとうございました。

本日は長時間にわたりご議論いただき誠にありがとうございました。これをもちまして、堺市南区政策会議第1回ブランド戦略推進・魅力創造部会を終了いたします。

本当にありがとうございました。

閉会（午後7時50分）